



ほんきであれ

多古町立多古第一小学校

2021年12月11日18号

—夢をもち、自ら学び、自ら考え、心豊かにたくましく生きる子ども育成—

5年生 航空講話事業～成田国際空港の仕事～

11月24日（水）、5年生を対象に（株）成田国際空港（NAA）で働くパイロットや客室乗務員（CA）の方を講師にリモートをとおして授業を行いました。

講師の方には、空港の様子や仕事の内容などを詳しく説明していただきました。また、子供たちの質問にもわかりやすく回答していただき、空港の仕事に興味を持った子供たちもたくさん見られました。真剣なまなざしで説明に聞き入る子供たちの様子が印象的でした。多古第一小学校の5年生の子供たちの中から、数年後パイロットや客室乗務員（CA）になっている人もいるかもしれません。楽しみです。



【リモートでの授業の様子】



【モニターの映像】

2年生 多古町のステキ 発見！



【2年生の学級交流】



【1年生への発表】

2年生が生活科で調べてきた多古町のステキなところをまとめ、2学年内での1組2組の交流発表会や1年生の前で発表しました。2年生の子供たちは、多古町の大型スーパーや町の公共施設等に直接足を運び、そこで働く方々に質問したり、説明してもらったことをメモに取ったりしました。

低学年の子供たちは、多古町のステキなところをたくさん見つけることができました。

*学校日より「ほんきであれ」は、ホームページでもご覧になれます。

4年生 ビブリオバトル～この本が1番～



ビブリオバトルとは、参加者同士で自分の気に入った本を持ち寄り、その本の魅力を紹介し合う書評ゲームのことです。参加者（発表者）が一人2分間程度で1冊の本を紹介し、それを聞いた参加者（聴衆）とディスカッションを行います。全ての発表が終わった後、『どの本が読みたくなったか』を基準に、参加者全員で投票を行って勝者を決めるというものです。

4年生では、読書名人を目指して年度初めに個人の目標を決め、読書を進めてきました。そこで、今まで読んだ本の中で、みんなに紹介したい本をそれぞれが持ち寄り、学級ビブリオバトルを行いました。それぞれが選んだ本の良さを発表し合いました。

読書離れが進む中、本校の学校評価でも「進んで読書をしている」は、全体の59%の達成率で大きな課題でもありました。このような機会を通じて、ぜひ読書好きの子供が本校に増えることを願っています。

書き初め学習会 ～心を込めて～

11月26日の6年生を皮切りに、各学年とも1月の書き初め大会に向けて学習会をスタートしました。八幡 量代先生を講師として迎え、各学年2時間ずつ練習を行いました。

最初は普段よりも太い筆を使っていたので、なかなか慣れない子供たちもいました。しかし、2時間目になると、すらすらと書いている子供や慎重に一文字一文字書いている子供など、真剣に集中して取り組んでいる姿がたくさん見られました。

今年度の書き初め大会は、令和4年1月7日（金）になります。冬休み中の宿題にもなっていますので、たくさん練習して納得のいく、心のこもった文字が書けることを期待しています。

